

日本画で愉しむ

四季折々の風景

本展では、当館のコレクションの中から、日本画によって描き出された四季折々の風景に焦点を当て、作品をご紹介します。

季節の移ろいに彩られた日本の自然は、古来より絵画の重要な題材として描き継がれてきました。明治期には、西洋の写実的表現の導入とともに、各地の風土や身近な自然への関心が高まり、それらを主題とする作品が数多く生み出されました。さらに戦後には、抽象的な表現や画家の内面世界を映し出す風景画も展開されていきます。

本展を通して、画家たちが自然と真摯に向き合いながら育んできた、季節に寄せる繊細な感性に思いを馳せていただければ幸いです。



①

日本画でめぐる 四季の風景

Painted landscapes of the four seasons



②



③



④

- ①松尾敏男「春輝」1992年
- ②奥田元宋「風光る」1970年
- ③川合玉堂「雨中八哥鳥」
- ④川合玉堂「冬の柳」

特集展示

女性の美しさを描いた美人画は、日本画を代表する画題のひとつとして、今も多くの人々に親しまれています。近代に入ると、画家それぞれの感性や個性がより重視されるようになり、女性表現は多彩で魅力あふれるものへと広がっていきました。特集展示では、和装の女性を描いた作品に焦点を当て、鏗木清方、伊東深水、三輪良平など、東西の画家たちによるさまざまな女性像をご紹介します。

交通案内

■広島市内から車で約1時間

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡った最初の島が下蒲刈島です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。駐車場から当館まで260m。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈。詳しくは下記までお問い合わせください。

呉市観光案内所 TEL(0823)23-7845

■呉市内から電車・バス利用の場合

JR呉線で広駅または仁方駅で下車し、駅前最寄りのバス停留所から瀬戸内産交(株)のバス「営農センター・沖友天満宮方面」行きに乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所で下車。停留所から当館まで300m。

近隣の文化施設のご案内

- 三之瀬御本陣芸術文化館 3/13-5/16
『静物画の魅力 モノへのまなざし』
- 蘭島閣美術館別館 2/18-4/20
『寺内萬治郎のあゆみ』
- 松濤園 1/28-4/6
『国書-国交を支えた書簡-』
『KAKIEMON-ヨーロッパを魅了した伊万里-』

